

### 3.1.4 超大型鉱石運搬船及びばら積貨物船

STX 造船海洋の超大型ばら積貨物船における実績は世界から注目を浴びている。当該社はハンディーバルカー、パナマ型及びケープサイズばら積貨物船は船主から高い評判を受けている。好評の理由は、同クラスのその他船型に比べ、最大自重と航行能力を持っている。



主要建造実績：

181,000DWT ばら積貨物船／  
105,000DWT ばら積貨物船／  
75,000DWT ばら積貨物船／  
58,000DWT ばら積貨物船／

STX 造船海洋は 298,000DWT の超大型鉱石運搬船を建造後、2009 年、日本海事協会 (NK) と協力し、400,000DWT の超大型鉱石運搬船の建造に成功した。当該船型は世界一の大きさで、船体の軽さと優れた安全性で輸送コストを大きく削減でき、今後受注は増える見通しである。

### 3.1.5 郵船及びフェリー

STX 造船海洋は STX 欧州を買収してから、高付加価値船である郵船とフェリーの最大建造メーカーとなった。現在、STX 造船海洋は世界 30% の受注残を抱えており、造船所 5 社を経営している。その 5 社はそれぞれ、フィンランドのトゥルク、ラウマ、ヘルシンキとフランスのサンナザレ、ロリアンに位置している。

2007 年、STX 造船海洋はロイヤルカリビアンから 2 隻の世界最大デラックス郵船を受注、うち「Oasis of the Seas」という名前の郵船は 2009 年 9 月に引き渡した。もう 1 隻の「Allure Of The Seas」は現在建造中で、2010 年末頃に引き渡す予定である。



オアシス・オブ・ザ・シーズ号

オアシス・オブ・ザ・シーズ号は船長 360 m、幅 47m、高さ 72m で、積載量 22,599 総トンである。その価値は 10 億ユーロで、優れた創造力と高い技術で建造された豪華客船である。

STX 造船海洋は、今後とも引き続き、世界郵船とフェリー市場での地位を固めつつ、高い技術と専門知識を利用し、世界における生産システムを上手く統合し、最大限価値を生み出せるように努める方針である。

### 3.1.6 海洋構造物

STX 造船海洋のオフショア関連業務には石油と天然ガス領域における試掘、穴あけ、生産、運輸及び建造業務、また上記業務に工事、建造及びすえつけ等のサービスを提供する各種海洋構造物の生産等がある。

2007 年、STX 造船海洋は世界で有名なフランス工事会社からオフショアパイプ敷き装置のオーダーを受注した。2008 年、深海ドリルシップ及び大型浮き装置関連オーダーを受注。2009 年には、11,800DWT の自航式浚渫船（Trailing Suction Hopper Dredger）2 隻と 6,500 DWT の Side Stone Dumping Vessel を 1 隻受注した。3 年間の短い間で STX 造船海洋はオフショア領域で安定的な地位を確保した。将来、STX 造船海洋は世界各地の有名会社と協力し、引き続きオフショア関連市場を開拓して行く方針である。

		
<p>浮き屋根式タンク及び生産施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浮き屋根式タンクは高付加価値のオフショア施設で、高い技術力特に設計と複雑な建造技術を要している。STX造船海洋は当該領域で高い競争力を持っている。</li> <li>・2008年世界最大浮き屋根式タンク及び生産施設建造メーカーという栄誉をたたえた。</li> </ul>	<p>配管機器/オフショア支援船</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフショア支援船は海洋工事を行う上で重要な役割を果たしている。例えば配管、吊り上げ、運輸、建設、組み立て及び廃棄処分等様々な生産活動に使われる。</li> <li>・2007年海洋配管工事メーカー賞を獲得。</li> <li>・2009年自航式浚渫船2隻とSSDV1隻を受注。</li> </ul>	<p>ドリルシップ/リフト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリルシップは高付加価値の装置であり、建造技術への要求は高い。STX造船海洋はドリルシップ、リフト及び深さ3kmの機械装置等を提供している。</li> <li>・STX Huisman総トン10,000はHuisman会社と協力生産した物である。</li> </ul>



固定式プラットフォーム

・STX造船海洋は、高い生産能力と技術力、また効率のよい生産・管理システム等により固定式プラットフォームまで業務範囲を広げた。



LNG船浮き装置

STX造船海洋のLNG船建造技術は進んでおり、一流の建造施設と建造能力を持っている。当社は傘下のSTXヨーロッパからLNG船の建造技術を習得し、学んだ高い技術により、LNG船浮き装置（STX250K LNG船浮き装置とSTX270K LNG船ドリル装置）市場で圧倒的なシェアを占めている。

### 3.2 造船所概況

#### 3.2.1 STX 造船海洋の各造船基地状況

STX 造船海洋は韓国国内で2つの造船所を持っている。その2つの造船所はそれぞれ鎮海（チネ）市と釜山（プサン）市にある。鎮海造船所の総面積は1,000,000 m<sup>2</sup>で釜山造船所は45,592 m<sup>2</sup>である。

##### 3.2.1.1 鎮海造船所

鎮海造船所関連主要データ

ドック	大きさ	クレーン	主要建造船種	建造能力
乾ドック	385m（長さ） ×74m（幅）	1,500 トンガントリー・クレーン（1基）	LNG 船	最大値 400,000DWT
バース	360m（長さ） ×48m（幅）	450 トンガントリー・クレーン（2基）	超大型コンテナ船	最大値 80,000DWT
浮きドック	382m（長さ） ×66m（幅）	300 トンガントリー・クレーン（2基）	超大型タンカー	最大値 200,000DWT
		600 トンガントリー・クレーン（1基）	超大型鉍石運搬船	
			海洋構造物	